

〔令和元年度 災害およびその他の事故等の発生状況〕

〔災害〕

発生件数 0 件

〔事故〕

発生件数 354 件

内訳

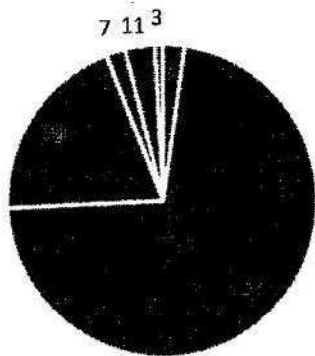
対象別

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
幼 児	0	1	0	1	1	0	3	0	0	0	2	0	8
小学校低学年	41	23	27	31	31	20	23	0	22	20	12	5	255
小学校高学年	11	6	8	8	7	5	5	0	6	7	4	3	70
中 学 生	0	2	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	7
高 校 生	1	1	1	1	2	3	1	0	0	0	1	0	11
一 般	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
合 計	53	34	37	41	43	28	32	0	31	27	20	8	354

症状別

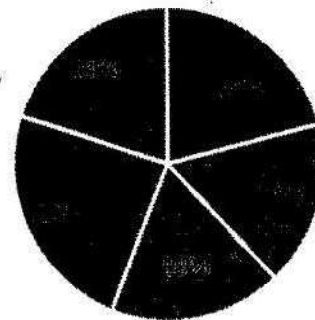
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
切り傷等	9	9	6	10	10	9	8	0	4	2	4	2	73
骨折・ひび	11	5	1	6	8	5	7	0	3	6	4	3	59
捻挫・脱臼等	11	6	10	3	6	2	3	0	11	8	4	1	65
打 撲	13	6	11	11	7	7	11	0	3	9	5	2	85
そ の 他	9	8	9	11	12	5	3	0	10	2	3	0	72
合 計	53	34	37	41	43	28	32	0	31	27	20	8	354

対象別



- 幼 児
- 小学校低学年
- 小学校高学年
- 中 学 生
- 高 校 生
- 一 般

症状別



- 切り傷等
- 骨折・ひび
- 捻挫・脱臼等
- 打 撲

事故発生に対する自己評価

児童会館の利用頻度が高い小学生の事故が全体の約92%を占めていた。特に低学年は72%と高く、在館時間が長いことから事故発生率が高くなる傾向にある。症状別では、転倒による擦り傷や切り傷が昨年度よりも3倍となり、咄嗟の時に手が出ず顔面を負傷するケースが多く見られた。児童への言葉がけを増やすとともに、会館で起きたケガについては保護者に情報を提供して再発防止に努めていく。